



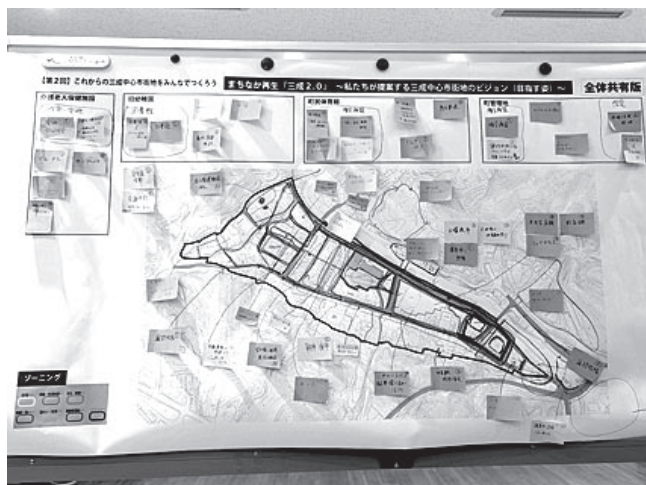
内田 雅人 議員

質問

まちなかWSでの有効な案は

町長

イベントと施設配置の案だ



三成で行われたワークショップでは様々な案が出された

質問 中心市街地を核として再生を図り、拠点性を高める立地適正化計画に沿って、三成はまちなか再生ワークショップ（WS）が2回開かれた。横田のまちなかについてはこれを行う必要はないのか。

町長 下横田エリアは計画的に進んでいるところもあるが、

横田のまちなかについては空洞化が進んでいる状況であり、今後ワークショップも実施したい。

町長 三成中心市街地のまちなか再生は本町にとって重要だ。

人を呼び込み、にぎわいを創出するための斐伊川護岸や役場前を活用したイベント、施設整備などのハード整備を組み合わせた多世代交流などの案は大変参考になる。

今後三成のまちなか再生ビジョンを作っていく。

質問 まちなかに出やすくするためのデマンド運行が三成の一部と三沢でスタートし、利用者から好評だ。他の地区ではまず体制づくりが大事だと思うが進め方は。

町長 運用面の課題を整理し、バス・タクシー事業者や小さな拠点づくりの皆様と情報を共有し、実用化が進むよう工夫していきたい。

運動遊びの重要性発信と環境づくりを

質問 遊び場も制限される今の子どもたちは、基礎的な体力が低下し運動嫌いな子が増えている。幼少期の運動には体力向上とともに、意欲的な心の育成、社会的な心の育成、社会適応力、認識機能の発達につながる。

として幼児園にて運動遊びの指導を実施し、園児の運動能力を伸ばしていく試みを行っている。

これらの活動の意義や効果について町民の皆様情報発信していく。

もっと情報発信と運動遊びの環境づくりが必要だ。

教育長 豊かな人生を送るための基盤づくりとして非常に重要だ。町体育協会



運動嫌いを無くすプログラムによって遊ぶ園児たち

その他の質問

城山の雲海の観光資源化を